

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で 9細胞/mL 確認されました。ヒロウラ漁場及び栄喜付近でコクロディニウム ポリクリコイデスが増殖傾向にありましたので、海色等に十分注意してください。また、魚類に有害なカレニア ミキモトイが最大で1細胞/mL 確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒原因種であるギムノディニウム カテナータムが8細胞/mL 確認されました。

※（本日は、海水 1mL でプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (10:00~11:00) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	カレニア パピリオナセア	ギムノディニウム カタネータム
					*1	*1	*1	*3
ヒロウラ 下図①	0	-	-	-	5	0	0	0
	5	-	-	-	2	0	0	0
	10	-	-	-	1	0	0	0
栄喜 下図②	0	-	-	-	4	0	0	0
	5	-	-	-	0	0	0	0
	10	-	-	-	0	0	0	3
青瀬山 下図③	0	-	-	-	9	0	0	0
	5	-	-	-	0	0	0	0
	10	-	-	-	0	1	0	8

\*1：魚類を死滅させるおそれがある種 (細胞/mL)

\*2：魚類を弱らせるおそれがある種、\*3：麻痺性貝毒の原因種

※魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府
カレニア ミキモトイ	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府

〈下図〉

